

日時	2023年11月4日(土) 9:45 ~ 11:30 天候：晴
場所	なにわエコ ECO スクエア 1 階研修スペース、自然体験観察園・実生林

講座・活動名	実生林創生プロジェクト
参加者	11名(うち子ども 名) 構成:一般参加 0名、エコボラ 11名、事務局 0名
講師名	(エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内容	実生林創生のための活動：周囲草刈、柵補修、生き物調査、生育状況(毎木)調査
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) ノギス、メジャー、ジャーマンメジャー、30mメジャー、スラントレベル、ハサミ、調査用紙 のこぎり、かけや、モウソウチク伐採材、コナラ・クヌギ伐採枝
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実生林内に、標記資材が放置されていた ・ 夏の間、カブトムシ採りの複数の盗掘者に、雑木林内の朽ち木ビオトープの竹柵が破壊されたり、中の腐葉土と幼虫が盗まれたりしており、資材が周辺に散乱していたおそらく農事等で利用されたと思われるがその後、「実生林」内に放置されていた ・ 実生林は実生苗を育てる場所で、資材置き場ではない ・ また通路際の落ち葉どめのコナラ伐採枝もカブトムシの餌用に盗まれたと思われる ・ これらを復元するための作業を、秋・冬の間の維持管理の日に実施する予定 ・ また外周路の落ち葉掃き後は、林内に落ち葉を入れて、林内の土壌を乾燥固化するのを防ぐので、落ち葉は除去しないでほしい(1月から2月がシーズン) ・ この日は、資材を整理し、柵を仮設置、カブトムシ幼虫 1匹とムカデが出た 以上の点について、「伝言シート」にまとめ、りんくう北中の石黒さんに渡した。

スタッフ氏名	活動内容
木山正隆	朽ち木ビオトープ柵修理、杭打ち直し
高橋満子	毎木調査、朽ち木ビオトープ柵運搬
忍喜博	毎木調査、朽ち木ビオトープ柵修理
柘元慶子	毎木調査、朽ち木ビオトープ柵運搬、落ち葉止め材再配置
竹原秀樹	朽ち木ビオトープ柵修理、杭打ち直し
中島一彦	朽ち木ビオトープ柵修理、杭打ち直し
北川ちえこ	植物調査
中谷憲一	昆虫調査
岩永圭司	植物調査
西田敏子	植物調査
辻野時代	植物調査

いずれかに○→(○)裏面に図面、写真等を添付した ()裏面なし ()詳細はファイルで提出

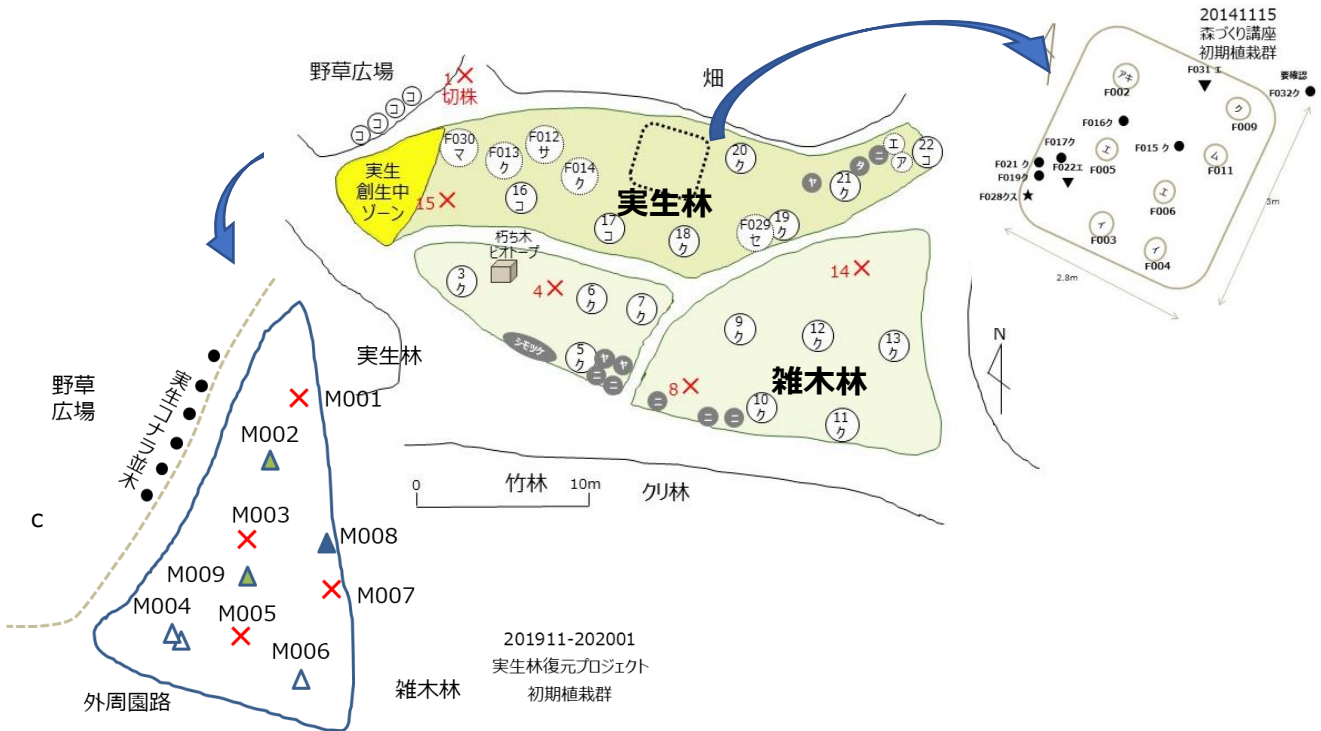
図面・写真等 添付面

日時	2023年 11月 4日 (土)	記録者	忍、高橋、柘元、
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		

毎木調査結果 (EXCEL 原票から表を貼り付ける)

F017 コナラ は折れ曲がり、葉は枯れていたので、来年春の芽生えまで見守る

Code	樹種	樹高cm	地面10cm 幹直径 mm	備考	調査年月日				
					Code	樹種	樹高cm	幹直径mm	備考
F002	アキニレ	1087.2	199.89861	▼3本まとめて周囲cm	F017	コナラ	45	8.9	コナラ枯れたか
F003	イヌビロ	244.6	37.6	葉は復活、花囊は落ちた	F021	クヌギ	58	7.4	タマフシ枯れひこばえあり
F004	イヌビロ	317	48	葉は復活、花囊は落ちた	F022	エノキ	104	6.8	
F005	エノキ	864.46	90.6	▼	F028	クスノキ	125	29.8	
F006	エノキ	767	55.7	▼	F029	センダン	654	55	地面56cm上から測定
F009	クヌギ	63	10.4	古い札タマフシ	F030	マグワ	1007.93	251.4648	▼
F011	ムクノキ	973.29	173.5	▼	F031	エノキ	234	23.4	
F012	サクラsp.	740.8	197.98875	▼ほとんど落葉	F032	クヌギ	82	14.7	F009nを改善
F013	クヌギ	1236.5	140.1	▼	M002	クヌギ	494	65	2020/1/11移植
F014	クヌギ	1217.2	158.2	▼	M004	エノキ	467	67.4	2020/1/11移植
F015	クヌギ	99	9.3	さけている	M006	エノキ	113	32.5	2020/1/11移植
F016	アキニレ	143	9.5	過去クヌギだった	M008	エノキ	455	54	2021/1/9測定開始
					M009	クヌギ	136	14	2023/7/1測定開始



図面・写真等 添付面

日時	2023年 11月 4日 (土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		



実生林内に放置されていた竹材・伐採枝



朽ち木ビオトープの修理を開始



実生林内に放置されていたものは雑木林に運搬



朽ち木ビオトープ枠を仮置きし作業終了



朽ちていく伐採枝はキノコの観察や生物資源の循環の教材となる
クヌギ切断面のカワラタケ



外周路部分は落葉シーズン前に落葉止めの補修が必要
竹枝組みが間に合わない部分には竹竿を置くなどの対策か

日時	2023年 11月 4日 (土)	記録者	北川ちえこ・中谷憲一 岩永圭司・西田敏子・辻野時代
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		

記録した生き物

実生林

草本：15種

アレチヌスビトハギ 1、イヌタデ 3、オオバコ 1、外来タンポポの一種 2,3、カラムシ 1、キクイモ? 1、キュウリグサ 1、クワクサ 3、コセンダングサ 2、スイバ 1、ネズミノオ 3、ヒナタイノコヅチ 3、ヒメジョオン 1、ヘクソカズラ 1、ホトケノザ 1、ムラサキカタバミ 1、ヤハズエンドウ 1

木本：5種

アキコレ 4、エノキ 1,4、クヌギ 4、クヌギ●1、トウネズミモチ 4

動物：10種

アブラムシ科の一種 2 (クヌギ)、クロツヤミノガ 2、クロヤマアリ 4、ツトガ科の一種 3、トビイロケアリ 4、ネコハグモ 4、ハバチ科の一種 4、ハラオカメコオロギ 0 声、ホソガ科の一種 0 食痕 (ヘクソカズラ)

実生創生ゾーン

草本：13種

アレチヌスビトハギ 3、オオニシキソウ 3、オツチカタバミ 1、カタバミ 2、キンエノコロ 3、コセンダングサ 2、ススキ 3、ヒナタイノコヅチ 3、ヒメジョオン 2、ヘクソカズラ 1、ヤハズエンドウ 1、ヨメナ 2、ヨモギ 3

木本：4種

アキコレ 4、エノキ 1,4、クヌギ 4、コナラ 1

雑木林

草本：17種

アレチヌスビトハギ 1、イヌタデ 3、エノキグサ 3、エノコログサ 3、カラムシ 1、クワクサ 3、セイタカアワダチソウ 1、タンポポ属の一種 1、ツユクサ 3、ヒガンバナ 1、ヒナタイノコヅチ 3、ヒメオドリコソウ 1、ヒメムカシヨモギ 3、ヘクソカズラ 1、ホトケノザ 1、ヤハズエンドウ 1、ヨモギ 1

木本：8種

アキコレ 1,4、エノキ 1,4、クヌギ 4、クヌギ●、センダン 4、タチバナモドキ 3、トウネズミモチ 1、ムクノキ 1

そのほか

伝言シート 231104 朽ち木ビオトープ.pdf
落葉どめと朽ち木ビオトープ 231104.pdf

を参照のこと。